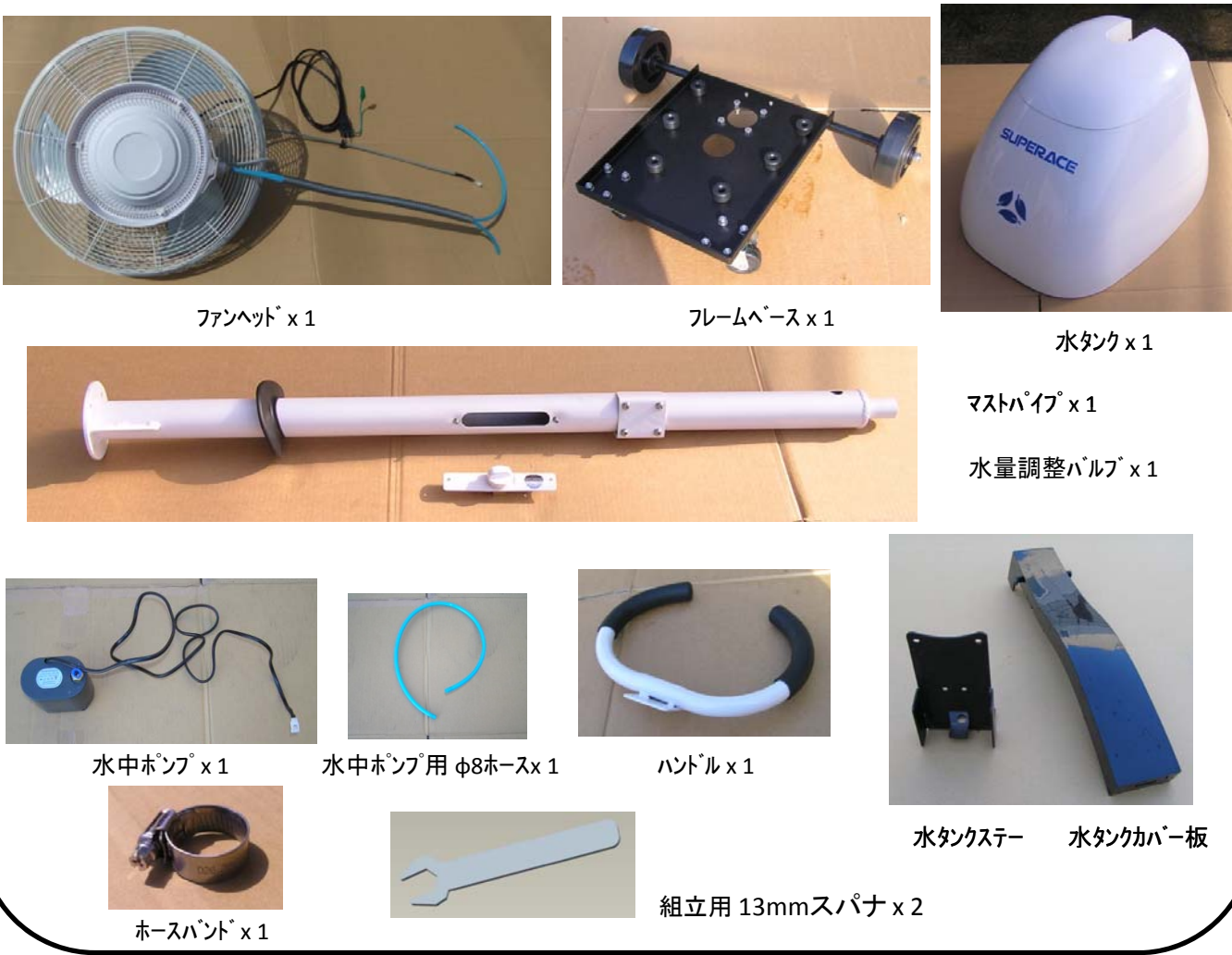
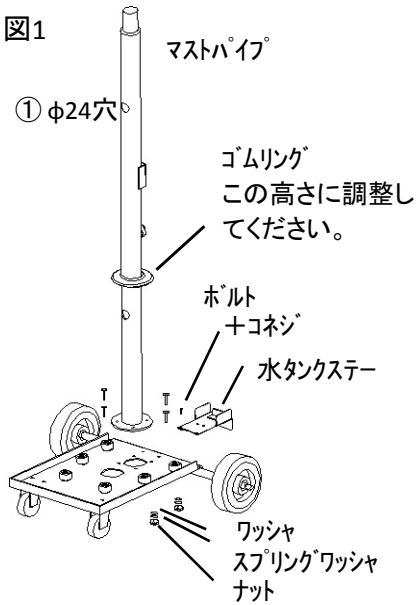
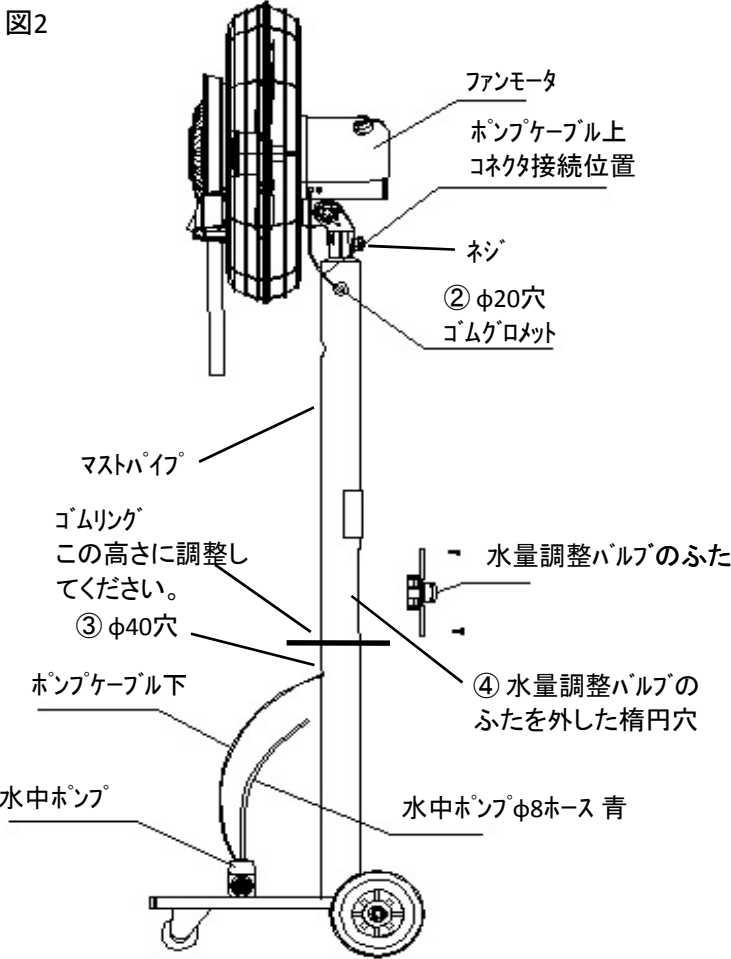
スーパーフォグジェッター SFC-104 取扱説明書　R00

このたびはスーパーフォグジェッター SFC -104 をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性格、性能を十分ご理解の上、
適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い申し
上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

[同梱内容、各部の名前]
下記の部材がすべてそろっているか確認してください。

[組立に必要な工具]　※本機には付属しません
＋ドライバー x 1

[組立手順]
1. スタンドの組立（図1を参照ください）
M8x25のボルト、スプリングワッシャ、ワッシャ、
ナット各4個を、フレームベースから取り外します。
マストパイプの①φ24の穴が前を向くようにフレー
ムベースに取り付け、ボルト4本を、付属の13mm
スパナ2本を使用して締めつけます。
次に、＋コネジ2本を取り外します。
水タンクステーを取り付け、＋コネジ2本を＋ドラ
イバーを使用して締め付けます。

2.ファンヘッドの取り付け 、ケーブルの接続（図2を参照ください）
マストパイプの上にファンヘッドを差し込み、ネジで止めます。
次にマストパイプに固定されている白い水量調整バルブのツマミ上下のスクリュー2本をドライバーで取
り外し、バルブのふたを外します。このとき、ゴムリングを図2の高さに調整してください。
水中ポンプから出ているポンプケーブル下をパイプの一番下の③ φ40の穴から入れてパイプに通し、
一番上の② φ20穴から出します。先端のコネクタはポンプケーブル上のコネクタを使って接続します。
コネクタは差し込んだ後、ロックダイヤルを回してロックします。その後コネクタを② 20穴の中に入れ、
ゴムグロメットでふたをします。

3.ホースの接続
(図3を参照ください)

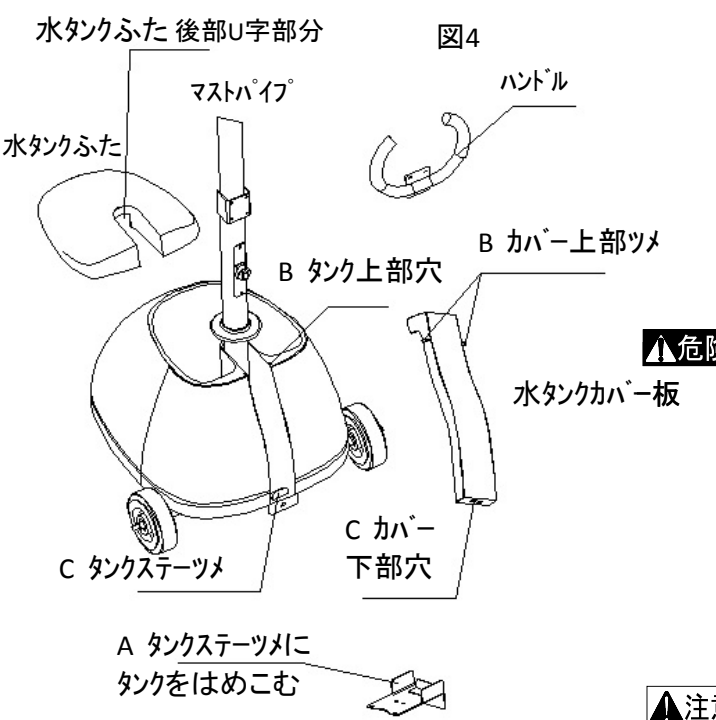
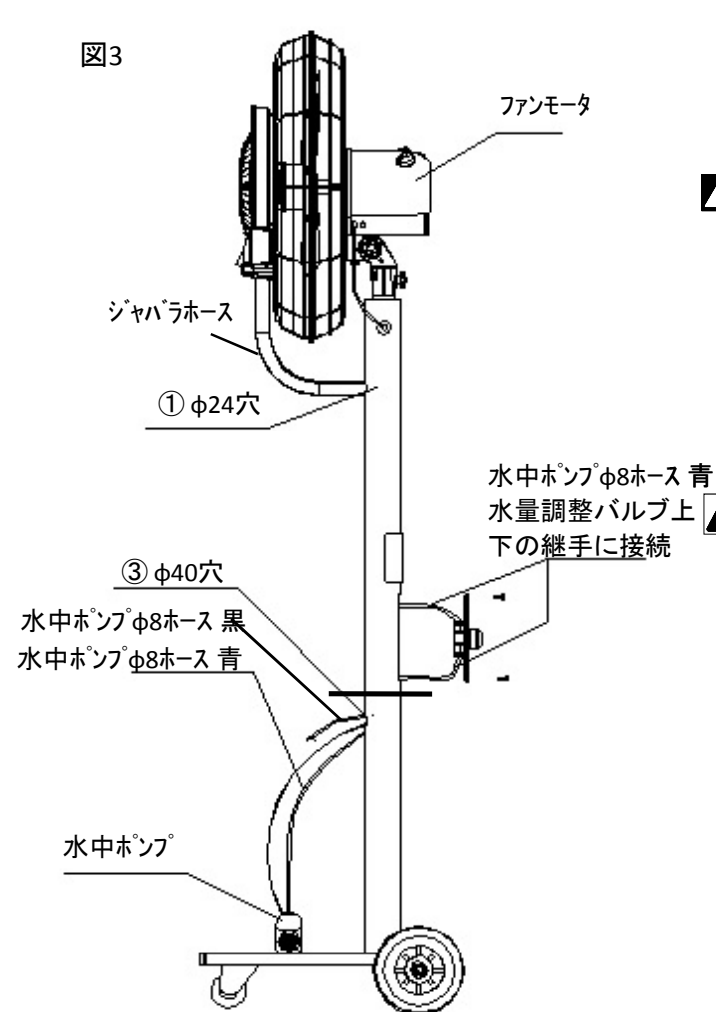
まず、ファン部から出ているジャバラホースの中にはφ8のホースが2本入っています。
これらのホースをジャバラホースごとパイプ前面上部の① φ24の穴に入れ、パイプを通し、短い方のホース(青)を④ 水量調整バルブのふたを外した楕円穴から出します。長い方のホース(黒)はパイプ前面下部の③ φ40の穴から出します。
次に、水中ポンプから出ているφ8のホースをパイプ前面下部の③ φ40の穴に入れ、④ 水量調整バルブのふたを外した楕円穴から出します。
φ8のホース2本は水量調整バルブ上下の継手に接続します。接続は止まるまで差し込みます。

最後に、水量調整バルブふたを閉め、ふたをネジで止めます。このときにパイプ内でホースが折れないように注意してください。

図3

4. タンクの取り付け (図4を参照ください)
タンクをフレームベースの上に置きます。水中ポンプをタンクの底へ吸盤で固定します。ポンプケーブル、φ8のホースはフロートバルブの動きを邪魔しないことを確認してください。
次に、水タンクカバー板を上下のツメをはめ込んで取りつけます。ポンプケーブル、φ8のホースをふたではさまないように、ふた後部のU字部分を通るようにまとめ、ふたを閉めます。黒色ゴムリングを押し下げるとふたの脱落防止になります。

5. ハンドルの取り付け (図4を参照ください)
最後に、マストパイプ後部にハンドルを装着します。ネジ4本を+ドライバーを使用して締めつけます。

図4

[運転準備]
設置する際は必ず平坦な場所に設置し、前輪にストッパーをかけ、必要に応じて車止めをしてください。

⚠危険
屋外での使用の場合、雨天時は必ずファン及びミストを停止させ、コンセントを抜き、屋内に入れてください。感電、漏電の恐れがあります。
子供が本機に触れることがないよう、また事故防止のため、運転中は本機から1m以内の範囲に人が立ち入らないようにしてください。
強風時は転倒の恐れがありますので、本機を使用しないでください。

水タンクに、水を入れます。方法は2通りあります。

⚠注意
運転中に水タンクが空にならないように常に注意してください。水中ポンプの故障の原因となります。

1. 水道直結 タンクの裏の給水口タケノコにφ15水道ホース(お客様でご用意ください)を差し込み、付属のホースバンドで止めます。水道の蛇口を開け、水を入れます。
2.水タンクに直接水を入れる方法 水タンクのふたを開け、直接水を入れてください。
3.コンセントプラグをAC100V に差し込んでください。
50/60Hz共用です。
緑色のアース線をアースへ接続してください。
4.薬液等を使用する場合は、ミスト回転プレート材質(ABS樹脂)を侵さない薬液とその濃度を選定してください。

風速切り替えスイッチ		1(弱)	2(中)	3(強)
50Hz	回転数min^{-1}	1310	1340	1380
	風量 m^3/min	約102	約110	約120
60Hz	回転数min^{-1}	1240	1460	1550
	風量 m^3/min	約95	約123	約135

[運転方法]
ファンモータ部分に3つのスイッチがあります。
1. ファン風速切り替えスイッチ
時計回りに0(停止)→1(弱)→2(中)→3(強)の順で変化します。
2.ミストon-offスイッチ
3.首振りon-offスイッチ
※ 2.ミストon-offスイッチと3.首振りon-offスイッチは1. 風速切り替えスイッチでファンが回っているときのみ動作します。
マストの裏にある水量調整バルブで噴霧量を無段階に調整できます。
とくに60Hzで運転する場合、床がぬれたり、水滴が飛ぶ場合があります。その場合は水量調節バルブを絞る方向で調節してください。

⚠危険
ファン正面・背面グリル(ガード)の中へ指を入れないでください。また正面・背面グリル(ガード)を外して運転しないでください。回転する羽根部でケガをする恐れがあります。
またミストプレート・安全カバー(ガード)の中へ指を入れないでください。また安全カバー(ガード)を外して運転しないでください。回転するミストプレート部でケガをする恐れがあります。
屋外での使用の場合、雨天時は必ずファン及びミストを停止させ、コンセントを抜き、屋内に入れてください。感電、漏電の恐れがあります。

使用後の取り扱い
停止するときは風速切り替えスイッチを0(停止)に回します。
水道の元栓を閉じてください。
水タンクから水を抜いてください。水タンクの中に手を入れ、底部にあるドレンキャップを反時計回りに回して外すと水抜きが出来ます。

⚠注意
普段のご使用前には水タンク内の水を抜き、新しい水道水を入れてご使用ください。
水タンク内に残ったまま1日以上放置すると水タンク内の水質が悪化している可能性があります。
使用しない時は屋内で保管してください。本機が雨に濡れたまま使用すると漏電・感電する恐れがあります。

[保守、点検について]

⚠危険 本機の保守・点検を行う場合は本機のスイッチを「切」にしてさらにコンセントを抜いてから作業を行ってください。

1.水タンクの清掃
水タンクは常に清潔を保つよう定期的に清掃してください。清掃する際は水中ポンプを水タンクから取り外してください。

2. 電装関係の点検
(1)キャブタイヤコード、コンセント、本機各部の端子に緩みがないか点検してください。
(2)モータ、コンセントなどが水にぬれた場合、十分に乾燥させ絶縁抵抗をチェックしてください。
(3)モータが吸湿してそうなときは絶縁抵抗が規定値以上あるかどうかチェックしてください。500Vメガテスタにて1MΩ以上必要です。

3. 付属品の点検
キャブタイヤコード、ミストチューブなどに摩耗、破損、水漏れがないか点検してください。異常がある場合は、ただちに修理、交換してください。

4. サーマルブレーカーはポンプが過負荷になった場合や、電源に異常がある場合などで保護装置として作動します。3分ほどで温度が下がりますので作動原因を取り除き、ボタンが飛び出している場合押して復帰させてください。

5. 輸送時などファンヘッドを取り外す際は本機のスイッチを「切」にして、ファン正面のホースコネクタ(青)と(黒)、さらに組立手順2のポンプケーブルコネクタを取り外し、ファンヘッドを上方に引き抜きます。

仕様

重要ラベル
警告表示は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しい物に貼り直してください。
・安全銘板の購入は、最寄りの販売店にお申し付けください。

型式	電圧	乾燥重量	噴霧量	水タンク容量
SFC−104 (50/60Hz共用)	AC100V	28kg	2.8 L/hr 4.6 L/hr	約20L

スーパー工業株式会社

本社・大阪支店　大阪府摂津市鳥飼本町5丁目3-7
〒566-0052 TEL(072)653-2721 FAX(072)653-2354

大阪工場　大阪府摂津市鳥飼本町2丁目2-48
〒566-0052 TEL(072)654-3990 FAX(072)653-2912

東京支店　東京都江戸川区中央4丁目15-13
〒132-0021 TEL(03)3653-2411 FAX(03)3653-2420

名古屋営業所　愛知県名古屋市緑区野末町208
〒458-0915 TEL(052)626-3701 FAX(052)626-3702

札幌営業所　札幌市白石区菊水7条1丁目1-24
〒003-0807 TEL(011)823-3661 FAX(011)823-3666

福岡営業所　福岡県粕屋郡志免町別府北3丁目5-8
〒811-2205 TEL(092)622-6273 FAX(092)622-6279

広島営業所　広島市佐伯区五日市中央7丁目25-23
〒811-2205 TEL(082)208-4885 FAX(082)208-4886

サービス工場　大阪府摂津市鳥飼本町5丁目1-7
〒566-0052 TEL(072)653-2721 FAX(072)653-2354

スーパーフォグジェッター 保 証 書

このたびはスーパーフォグジェッターをお買い上げいただきまして、ありがとうございました。
下記記載の製品について本書記載内容で保証いたします。なお、この保証書は日本国内で使用される場合に適用いたします。

機種・品番		SFC-104
保証期間		製品引渡し日より起算し１年間
納入年月日		平成　　年　　月　　日
お客様	ご住所	
	お名前	
	電話番号	
納入店名	住所・店名	電話　（　　）

無料修理規定

1.保証の内容
製品を構成する純正部品に、材料又は製造上の不都合が生じた場合、この保証書に示す期間と条件に従って、無償修理致します。(以下この無償修理を保証修理といいます。)
保証修理は部品の交換、あるいは補修により行います。また、取り外した不都合部品はスーパー工業㈱の所有となります。

2.保証期間
保証修理の受けられる期間は製品を引き渡した日より起算し、一年間以内といたします。

3.保証できない事項
次に示すものに起因する不具合は保証修理致しません。
弊社の「取扱説明書」に示す正しい取扱い操作や日常・定期点検方法・禁止事項・保管方法を守らず、それが原因で生じた故障と認められた場合。
弊社が示す使用の限度を越える使用。
弊社が認めていない改造又は変更。
純正部品及び指定している油脂類(潤滑油・燃料油等)以外の使用。
経時変化による自然変色発錆。
機能上に影響のない単なる感覚的現象(音・振動・外観上の軽微な傷等)
天災・地変による損傷。
弊社以外で修理され、それが原因で生じた故障と認められた場合。
⑨アスベストや危険粉塵を含む環境や、放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。
(2) 次に示すものの費用は負担いたしません。
損傷部品を紛失された場合の修理費用。
不具合による休業保証・レンタル料・電話代等二次的損失。
下記に示す消耗部品及び油脂類等。
各フィルタエレメント・ランプ・計器類・ノズル・パッキン・ゴムホース・シール等及びこれに類する消耗部品 。
<ご注意>
保証の請求には、必ず本証書をご提示ください。ご提示なき場合は保証しかねる場合があります。
ご使用の前に取扱説明書をよく読んでください。

※アスベストや危険粉塵を含む環境や放射線に被爆したおそれのある環境で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害するおそれがあるため、修理はお受けできません。

わからないことや、故障したら

ご使用のスーパーフォグジェッターについてわからない事や故障が生じた時に、次の事を確認の上、販売店又は、弊社までお問い合わせください。
(1)型式名と機番　(2)ご使用状況(どんな時に)　(3)ご使用時間
(4)故障状況(水を吸わない、圧力が上がらない、モータが始動しない等)

安全に使用していただくために

本製品は、本書に記載した使用方法に従ってお使いいただく限り、お客様には十分満足いただけるものと信じております。
本書に従わなかった場合、重大な事故の原因になります。

本書中、および本製品に貼付した警告表示で使用している安全標識とその意味はつぎのとおりです。

誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いものを示す内容です。

誤った取扱いをした時に、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される内容です。

誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容です。

●本書中で ⚠危険 ⚠警告 が付いた記載事項は、取扱い上特に重要な注意事項です。
注意を怠った場合には、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が高いので必ずお守りください。

●なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な事故に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので　必ず守ってください。

当社は、あらゆる環境下における運転・点検・整備のすべての危険を予測することはできません。
したがって、本書や当製品に明記されている警告は、安全のすべてを網羅したものでは、ありません。
本書に書かれていない運転・点検・整備を行った場合、安全に対する配慮が必要です。
取扱店とよくご相談ください。

⚠危険

- すべての危険、警告、注意事項をご確認の上、ご使用ください。
- 本機は水平な場所に設置し、動き出さないような措置をしてください。床面のしっかりした場所で、建物や、設備から１ｍ以上離して使用してください。
- 本機のまわりに引火物を置かないで下さい。また、引火物が充満するような場所で使用しないでください。
- 降雨や雷鳴時は屋外での作業には使用しないでください。感電や落雷の危険があります。
- 本機を使用中、異常を感じたら直ちに機械の使用を中止してください。
- 回転部分のカバー類を取り外したまま絶対に使用しないでください。
- 運転中は回転部分に絶対に近づかないようにしてください。ファンなどの回転部分に手や身体、衣服などが巻込まれて、けがをするおそれがあります。
- 本機は吊り上げないで下さい。本機の落下につながり大変危険です。
- 改造は絶対にしないでください。又、本機付属品は、磨耗や破損等が認められる場合には、直ちに当社販売店まで相談してください。

⚠警告

- 本機に水や油などがかからないようにしてください。かかった時は乾いた布でよく拭き、十分に乾燥させてください。
- フォグノズル、吐出ホースなどの接続はゆるんだり、外れたりすることのないように確実に接続してください。
- 運転中は、吐出ホースを引っ張らないでください。
- 本機の前方 1m 以内に人が入らないようにしてください。
- 本機の出口付近は高圧水が噴霧されますので、むやみに身体を近づけないでください。

⚠注意

- 運転中は、本機のまわりをよく見て安全を確認してください。
- 吐出された水を飲用などに用いないでください。
- 衛生上、必ず水道水を使用してください。またゴミ等を吸いますと、故障の原因となり、本機の能力の低下及び損傷につながりますので注意してください。
- 工業用水、井戸水、海水など不純物の混入した水を使用すると故障の原因になります。

- 本機使用の推奨温度は 0℃～40℃までです。吸水温度は最高 40℃までです。
- 冬期、凍結の恐れのある場合は必ず水抜きの作業を行ってください。ポンプが凍結しますと重大な故障の原因となります。
- 冬期、水抜きを忘れ、凍結をしていると思われるときは、ぬるま湯等で水中ポンプ及び配管ほか付属品の氷を溶かしてからご使用ください。むりに原動機を起動させますと故障の原因となりますので注意してください。
- 空運転は絶対にしないでください。通常始動後約 10 秒程度で吸水をします。それ以上(最大 20 秒間)たっても吸水しない場合は異常です。運転を中止して原因を調べてください。
- 本機の点検、整備、調整を行う場合必ず原動機を停止させ圧力を抜いた後に熱部の冷却等を確認し安全に作業を行ってください。
- 日常点検、整備を必ず行い本機を常に良好な状態にしておいてください。不具合がある状態や問題のある状態で操作すると、ケガをしたり本機が故障する原因となります。
- アスベストや危険粉塵を含む環境や放射線に被曝した恐れのある環境等で使用もしくは保管された機械は、修理者の健康を害する恐れがある為、修理はお受けできません。

⚠注意

横を向いているファンを正面に向ける場合は、無理に動かさないで首振り運転をさせて戻してください。
無理に動かすと内部部品が破損する場合があります。

⚠危険

- 一次側配線は、有資格者（電気工事士）が行ってください。
- 必ずアース線（緑色又は黄/緑）を接地してください。（電気設備技術基準　第 18～28 条により接地工事を行ってください。）
- アース線をガス管に接続しないでください。火災、爆発の原因になります。
- ケーブルを踏んだりひっぱったり、上に物をのせたりせず大切に扱ってください。また、加工しないでください。火災、感電の原因になります。
- ケーブルが損傷している場合は、そのまま使用しないでください。
- 本機や通電部分（各種装置、ケーブル、コンセントなど）に、水がかからないようにしてください。また、濡れた手で通電部分をさわらないでください。
- 電源が切られていない状態で、点検、整備をしないでください。感電のおそれがあり、非常に危険です。必ず本機スイッチを切(OFF)にし、さらにコンセントを抜いてから作業してください。

⚠警告

- エンジン溶接機など正弦波でない電源は、本機のタイマーや電子機器を焼損させますので使用しないでください。
- 昇圧器などのトランス類は使用しないでください。故障や発火、発熱、焼損の原因になります。
- 運転中、および停止直後はモータ本体や、周辺が熱くなっていますから、手や肌が触れないようにしてください。
- 専用の漏電遮断器を必ず取り付けてください。
- スイッチ、又は電磁開閉器周りのカバーは、外さないでください。外す時は電源を切り、さらに元電源を切ってください。

⚠注意

- 運転中、停電または故障などで電源が切れた時は、本機のスイッチを必ず切(OFF)にしてください。
- 指定の電圧・周波数で使用してください。電気部品の損傷につながります。